第 97 回株主総会質疑応答

- 質問者：2 名
- 質問数：2 問

質問 1
羽田監査役について、再任を決議された際には経験や職務遂行能力を期待されていたものと認識していたが、任期途中で辞任に至った経緯としては、不文律や申し合せにより本総会をもって辞任することが事前に決まっていたことによるものかについて。
回答 1 【議長（代表取締役社長）中西充より回答】
本人が組織としての今後の発展を考え、後進育成の主旨から辞任を申し出たものです。

質問 2
公営競技事業における在宅投票システムの売上が、会社全体の売り上げ構成比に占める割合が高いと認識しているが、当該事業の成長性や将来性についての見通しと、今後、企業として成長するために当該事業に依存することになるのかについて。
回答 2 【議長の指名により企画・財務部門を担当する常務取締役の磯部尚志より回答】
当社におきましては、第 3 次中期経営計画において、2025 年度（目標最終年度）には、売上高 400 億円、営業利益 150 億円、親会社株主に帰属する当期純利益は 100 億円という見込みを立てております。 これを達成するためには、公営競技事業における SPAT4（南関東 4 競馬場在宅投票システム）の更なる売上増や、倉庫賃貸事業における物流倉庫の新設が必要となりますが、現下においては SPAT4 の売上は引続き好調であり、倉庫の新設につきましても、常に顧客ニーズを念頭に置き計画的に進めております。 また、遊園地事業（東京サマーランド）につきましても、2025 年度には黒字化を目指すなど、全社一丸となって中期経営計画に掲げる係数目標を達成する所存でございますので、今後の成長にご期待ください。